



参院選 18歳 投票率



■平成28年6月定例愛知県議会閉会

参議院選挙中の7月5日に6月県議会が開会しました。上程された大規模展示場整備事業費など約6億3千万円の一般会計補正予算、あいち航空ミュージアムの観覧料等を定める愛知県名古屋飛行場条例の一部改正や待機児童の解消に向けた児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正などの条例関係9件、絵画「ムク作イプセン『幽霊』からの一場面」の買入や公安委員会委員の選任などのその他の議案8件、専決1件を全会一致または賛成多数で全て可決、同意、承認しました。

決議案については、議長提案のあった「第20回アジア競技大会の招致についての決議」は、共産党の理解が得られず、自民、民進、公明の共同提案という形で決議案が賛成多数で採択されました。但し、民進から提案した大会本来の趣旨である“スポーツを通じた友好と平和”の文言が加えられなかったことは大変残念でした。意見書については、精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用について(民進)、南海トラフ地震対策の推進について(自民)、食品ロスの削減に向けた取組の推進についての意見書を採択し国に送致しました。

議長提案の決議案が全会一致ではないため、交渉会派から出される意見書は各1件(決議案と合わせて通常の2件とカウント)となりました。また、共産案は2会派以上の賛成(取決め)が得られず提出には至りませんでした。



■第24回参議院議員通常選挙

戦後70年ぶりに選挙権年齢が18歳以上に引下げられた初の国政選挙は、投票率が前回の52.65%を超え55.41%(内期日前14.83%)と2.76ポイント上回りましたが前々回の57.46%には及ばず、政治不信、政治への無関心を払拭するには至りませんでした。

選挙結果は、自・公で70議席と目標の改選過半数の61議席を上回り、改憲の2/3も確保しました。愛知では民進現職の斎藤氏(約57万票←H22約75万)と同新人の伊藤女史(約52万←H22安井氏約67万、次点薬師寺約53万)の2議席を確保、自民現職の藤川氏(約96万票←H22約92万)、公明新人の里見氏(約53万票)とともに当選させて頂きました。

ただし、選挙戦もそうでしたが衆議院のカーボンコピーと揶揄され、良識の府としての信頼が揺らぐ中、二院制のバランスや必要性、地方首長の議員選出なども含め財政面からも参議院の抜本的な改革が必要と考えます。

	自民藤川	公明里美	民進斎藤	民進伊藤	共産須山
今回参院選	19,023	9,371	9,209	10,917	5,677
前回H25	20,741	-	13,913	-	4,917
前々回H22	17,955	-	12,057	14,400	3,752

上記表は稲沢市の開票状況(敬称略) H25: 自民は酒井、民主は大塚、共産は本村(当選は自、民、みんな(薬師寺 35万票) H22: 民主は伊藤の前の安井、共産は本村 今回の稲沢市の投票率は55.19%(内期日前11.16%)、BEST5は緑町、稲沢西第1、大里駅前、山崎、小池

●総務県民委員会質問

6月定例会で所管する選挙管理委員会に若者に対する啓発、投票環境の向上について県の取り組みを質しました。(以下概要)

【選挙出前トークの状況】

市町村選管と連携を図りながら取組んでおり高校での出前トークはH26年度の2校から昨年度は54校へと大幅に増加。

【投票率が高齢者の半分にも満たない若者に向けたSNS等の取組】

SKE48の松井珠理奈さんのポスターや特設サイトの設置、イベントなど積極的に取り組んでいる。

【投票環境の向上に関する公職選挙法の改正(共通投票所制度の創設、期日前投票の投票時間の弾力的な設定等)に対する本県の取組状況】

本県では設置のない共通投票所は、費用・二重投票など解決すべき課題もあり全国で4団体のみ。期日前投票所は大学6、スーパー1、複合商業施設2、公共施設5と14か所の増加、時間延長は2市が対応。

STEP 21 県政 REPORT



■総務県民部会



5月に発足した総務県民部会では、委員会に付託された議案の審査を中心に進めてきましたが、9月定例議会後の知事要望の取りまとめを始めました。昨年度までの知事要望の進捗状況や熊本地震など新しい事象に対応するため、担当部局のヒアリング・意見交換を行っています。新たな項目としては、自治体庁舎の耐震化・BCPや車中避難者対策、性的少数者(LGBT)、消費税率10%の延期、公契約条例の推進、国際交流、共通投票所の設置などです。最終的には8月の重点事業のヒアリングののち各部会案を持寄り素案の作成、政調会、総会に諮り決定していく予定です。

■平成27年度政務活動費

三期目の当選をさせて頂いて最初の政務活動費です。県からは会派・個人に合計50万円支給され民主党県議団(現民進)では原則団に5万円(喫茶・弁当代などに充てる団費は別に3万円報酬から天引きしています)、個人に45万円支給しています。平成27年度の個人分は利子合わせて569万57円頂き、支出との差額3,233円を返還しました。不透明といわれる人件費削減のため事務関係の週3日を月2日の勤務に縮小、行政区の総会などで飲食の伴う会費は計上していません。詳細は県議会のホームページで閲覧できますのでご確認ください。

費用	支出額	適用
調査研究費	1,263,000円	ジャカルタ・バンコク海外調査費 543,000円 ケベック州・ブリティッシュコロンビア州海外調査 720,000円
研修費	19,000円	日本自治創造学会会費・研究会参加費 愛知地方自治研究センター会費
広報広聴費	3,871,994円	6月、9月、12月、2月各定例会及び年間活動報告印刷費 1,538,456円 封筒代 86,400円 ポスティング代 1,273,320円 郵便・メール便代 733,818円 ホームページ管理費 240,000円
要請陳情等活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	170,592円	自治体情報誌購読料 58,968円 日経グローバル購読料 90,720円 人口減少時代 日本国勢図絵 世界国勢図絵 県勢 地方財政論 公共空間 日本の政治を変える 政治学 新・観光立国論
事務所費		
事務費	13,738円	事務用品・ファイル代
人件費	348,500円	政務活動補助アルバイト(事務 192,000円 配布 57,500円 郵送作業 99,000円)
合計	5,686,824円	(残余 3,233円)

■宮田用水土地改良区決算監査

宮田用水土地改良区の総代(第13区:稲沢・小正・下津から4名)に選出頂き、現在は監事として初めての役員を拝命し、7月12日には平成27年度決算監査を実施しました。定款規約諸規程集に基づいて各項目を分担して行いました。約3億円の組合費や約1.5億円の決済金特別会計繰入金等の収入合計は6億3,474万余円、事務費約3.2億円や維持管理費約2.1億円等の支出合計は6億2,273万余円、27年度の組合費収納状況は98.22%でした。現地調査では、萱津分水路(増田チェック)維持管理適正化事業遠方監視制御装置設置工事(約765万円)他を視察しました。

通水400年を越える宮田用水土地改良区は一宮、清須、北名古屋、稲沢、津島、あま、蟹江町、大治町、愛西、名古屋の8市2町に木曾川の水をかんがい(供給)しています。稲沢は地積約1,900haで最大規模です。



イベントなど
 30日愛知県消防操法大会
 8月2日老人芸能大会
 6日サマーフェスタへいわ
 15日戦没者追悼式 そぶえ夏まつり

STEP 21



…未来へつづくまちづくりへ 一生懸命働きまわす。